

令和7年度第1回 鈴鹿市上下水道事業経営審議会資料

鈴鹿市の農業集落排水事業の概要と
経営戦略（改定版）の検証（農業集落排水事業）

令和7年4月25日
鈴鹿市上下水道局



下水道マスコットキャラクター
「スイスイ」

目次

1 本市の農業集落排水事業の概要	1
------------------	---

2 経営戦略（改定版）の概要（農業集落排水事業）	9
--------------------------	---

3 経営戦略（改定版）の検証（農業集落排水事業）	16
--------------------------	----

4 経営戦略改定以降の動向（農業集落排水事業）	23
-------------------------	----

5 今回の審議会資料のまとめ（農業集落排水事業）	24
--------------------------	----

用語解説	25
------	----

Ⅰ 本市の農業集落排水事業の概要

Ⅰ.Ⅰ 農業集落排水事業のイメージ

農業集落排水事業は農村集落を対象に、公共下水道と同じように、生活環境の向上、農業用水の水質保全等を目的として、各家庭から出た汚水を処理場で処理を行う事業です。

農業集落排水事業のイメージ図



Ⅰ 本市の農業集落排水事業の概要

Ⅰ.2 農業集落排水事業の沿革

平成6（1994）年に供用を開始した合川地区から始まり、平成27（2015）年度末には最終整備計画地区である三宅・徳居地区の整備が完了しました。

	名称	供用開始年度	事業費（億円）
1	合川地区農業集落排水処理施設	平成6年度	8.0
2	甲斐地区農業集落排水処理施設	平成7年度	7.0
3	国分・木田地区農業集落排水処理施設	平成9年度	15.2
4	国府地区農業集落排水処理施設	平成9年度	12.4
5	津賀地区農業集落排水処理施設	平成9年度	5.6
6	深溝地区農業集落排水処理施設	平成9年度	15.7
7	御園地区農業集落排水処理施設	平成9年度	13.1
8	岸田・花川地区農業集落排水処理施設	平成11年度	13.5
9	上田地区農業集落排水処理施設	平成11年度	9.8
10	下大久保地区農業集落排水処理施設	平成12年度	14.3
11	広瀬地区農業集落排水処理施設	平成14年度	13.2
12	天栄地区農業集落排水処理施設	平成15年度	13.3
13	国府西地区農業集落排水処理施設	平成15年度	8.8
14	伊船・長澤地区農業集落排水処理施設	平成18年度	29.1
15	椿地区農業集落排水処理施設	平成19年度	16.8
16	東庄内地区農業集落排水処理施設	平成19年度	8.4
17	井田川北・汲川原地区農業集落排水処理施設	平成23年度	7.2
18	三宅・徳居地区農業集落排水処理施設	平成27年度	14.4
合計			225.8

Ⅰ 本市の農業集落排水事業の概要

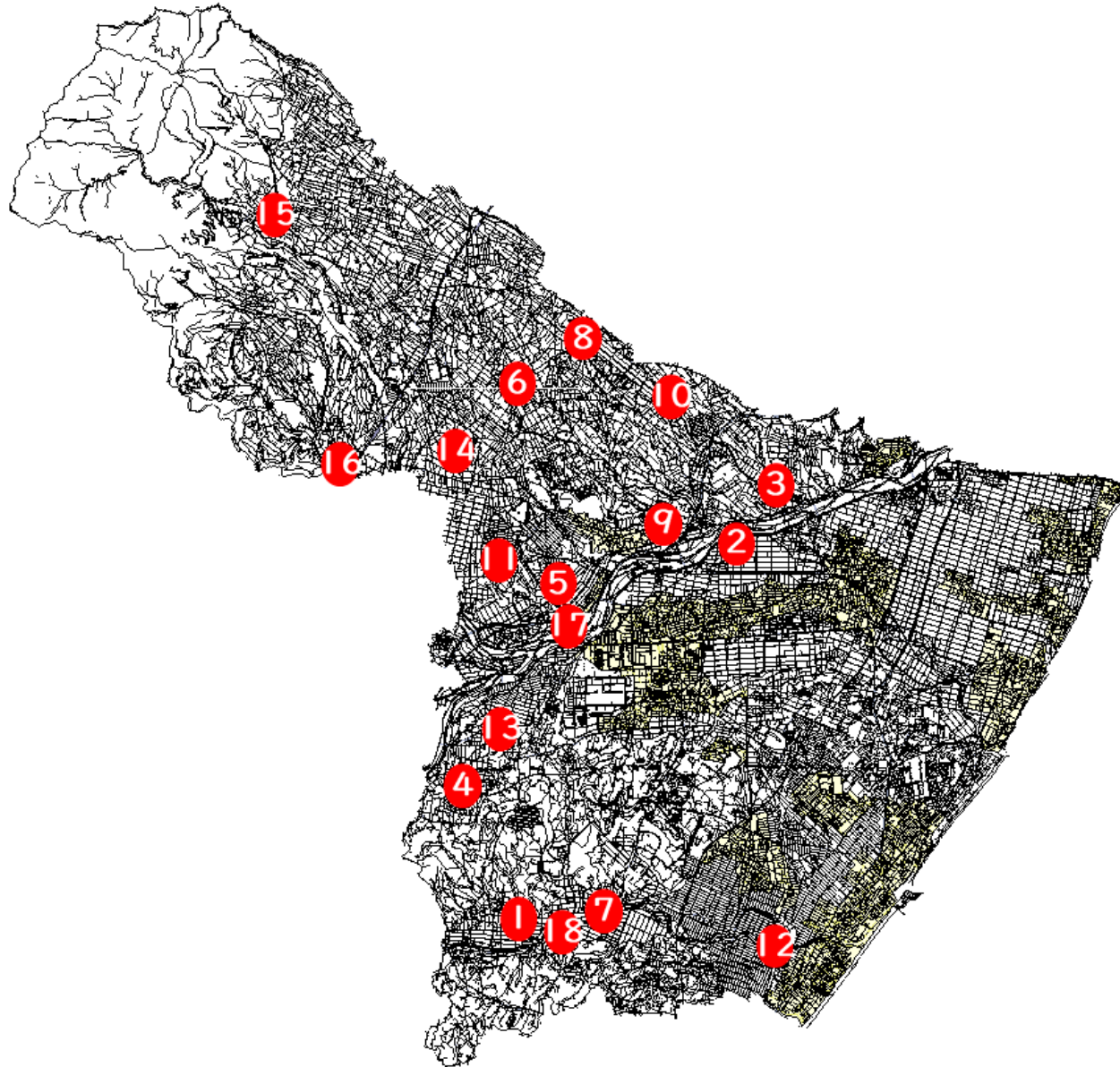
Ⅰ.3 施設の状況

点在する18の農業集落排水処理区域ごとに浄化センター（処理場）を有していますが、個々の施設は該当地区の人口に応じて、小規模なものとなっています。各浄化センターの位置は、次のページの図のとおりです。

	名称	位置	計画人口（人）
1	合川地区農業集落排水処理施設	長法寺町、三宅町	600
2	甲斐地区農業集落排水処理施設	甲斐町	650
3	国分・木田地区農業集落排水処理施設	国分町、木田町	1,800
4	国府地区農業集落排水処理施設	国府町、八野町	1,280
5	津賀地区農業集落排水処理施設	津賀町	400
6	深溝地区農業集落排水処理施設	深溝町	1,480
7	御園地区農業集落排水処理施設	御園町	1,480
8	岸田・花川地区農業集落排水処理施設	岸田町、花川町、下大久保町	1,170
9	上田地区農業集落排水処理施設	上田町	890
10	下大久保地区農業集落排水処理施設	下大久保町、石薬師町	1,550
11	広瀬地区農業集落排水処理施設	広瀬町、高塚町	1,210
12	天栄地区農業集落排水処理施設	徳田町、五祝町	1,270
13	国府西地区農業集落排水処理施設	国府町	970
14	伊船・長澤地区農業集落排水処理施設	伊船町、長澤町、東庄内町、追分町	3,640
15	椿地区農業集落排水処理施設	山本町、大久保町、小岐須町、小社町	2,570
16	東庄内地区農業集落排水処理施設	東庄内町	1,080
17	井田川北・汲川原地区農業集落排水処理施設	西富田町、中富田町、汲川原町	840
18	三宅・徳居地区農業集落排水処理施設	三宅町、徳居町	1,370
合計			24,250

Ⅰ 本市の農業集落排水事業の概要

Ⅰ.4 施設の配置



Ⅰ 本市の農業集落排水事業の概要

Ⅰ.5 施設の老朽化及び耐震化

施設、管きょとも耐用年数を経過しておらず、耐震化も新設時に対応しています。現時点では基幹的な施設の更新を行う必要性は低いですが、生活インフラの重要な施設であるため、数年ごとに機械設備の更新計画の見直しを行っています。

【既存施設の状況】（参考：鈴鹿市上下水道事業経営戦略（改定版）52ページ）

施設	供用年数	耐用年数
浄化センター（建物）	8～30 年	50 年
浄化センター（設備）		15～20 年
中継ポンプ		15～20 年
管きょ（Φ50～Φ300）		50 年

I 本市の農業集落排水事業の概要

I.6 予算（収支）の概要（収益的収支）

農業集落排水事業での下水道事業会計では主な収益的収入は農業集落排水処理施設使用料と一般会計からの繰入金で、主な収益的支出は維持管理に要する費用と減価償却費です。

【収益的収支】経済的な事業活動に伴って発生する収益と費用の収支

収入（収益的収入）



支出（収益的支出）



差額が利益となり、資本的収支差額（不足額）を補填する。

※ 一般会計からの繰入金… 下水道事業にかかる経費のうち、一般会計が負担している経費

I 本市の農業集落排水事業の概要

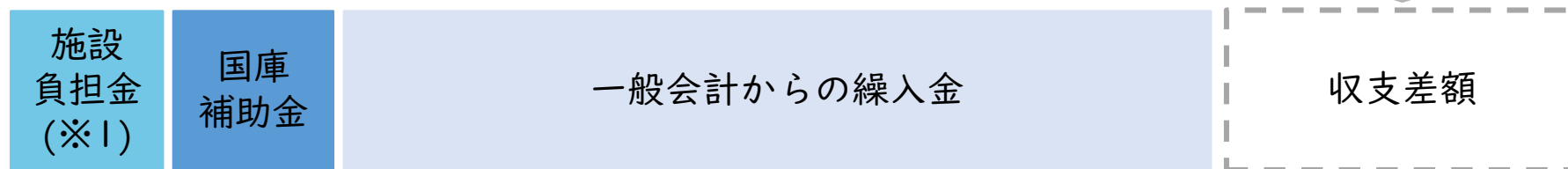
I.7 予算（収支）の概要（資本的収支）

農業集落排水事業での下水道事業会計では主な資本的収入は施設負担金と一般会計からの繰入金で、主な資本的支出は施設の更新工事費と企業債の償還金です。

【資本的収支】 農業集落排水処理施設の更新工事等をするための費用とその財源の収支

収入（資本的収入）

差額は、収益的収支差額（利益）や留保資金（※2）で補填



支出（資本的支出）



※1 施設負担金… 農業集落排水事業の設備により利益を受ける土地の所有者等に、建設財源の一部について負担を求めるもの

※2 留保資金… 現金の支出がない費用（減価償却費等）と現金の収入がない収益（長期前受金戻入等）の差額で、内部に留保される自己資金

Ⅰ 本市の農業集落排水事業の概要

Ⅰ.8 農業集落排水処理施設使用料の概要

収入である農業集落排水処理施設使用料については、平成30（2018）年度に改定を行い、使用料体系を次のとおりとしました。この改定では経営の安定化を図るために基本使用料の比率を高めた一方、少量使用者への負担を考慮して水量区画を細分化し、最低従量使用料単価を引き下げました。

【使用料体系】（参考：鈴鹿市上下水道事業経営戦略（改定版）54ページ）

（2 か月当たり、税抜）

用途	基本使用料	従量使用料単価 (1 m ³ 当たり)	
一般汚水	2,300 円	～10 m ³	5 円
		11～20 m ³	75 円
		21～40 m ³	120 円
		41～60 m ³	155 円
		61～100 m ³	200 円
		101～200 m ³	240 円
		201～1,000 m ³	305 円
		1,001 m ³ ～	350 円
浴場汚水	2,300 円	21 円	
臨時用等		350 円	

2 経営戦略（改定版）の概要（農業集落排水事業）

2.1 投資目標

農業集落排水事業の投資目標については、維持管理を中心としたストックマネジメントの導入と維持管理費用の平準化を投資目標として設定しています。

【投資目標】（参考：鈴鹿市上下水道事業経営戦略（改定版）65ページ）

目標 1	ストックマネジメントの導入により、令和2（2020）年度に策定した最適整備構想に基づき、既存施設の有効利用や長寿命化を図り、計画的かつ効率的な管理を行います。
目標 2	維持管理関連費用を平準化し、10年間で約43億円の費用を投資し、長寿命化に向けた維持管理を実施します。

2 経営戦略（改定版）の概要（農業集落排水事業）

2.2 投資計画

ストックマネジメントの考え方にに基づき、機能診断調査の実施や最適整備構想の策定により、効率的な維持管理に努めるため、次のとおりストックマネジメント事業計画を策定しています。

【ストックマネジメント事業計画】（参考：鈴鹿市上下水道事業経営戦略（改定版）64ページ）

	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度～
機能診断（16地区）								
最適整備構想策定（18地区）								
施設統合等検討								
維持管理適正化計画策定（3地区）								
事業計画策定（3地区）								
全体実施設計（3地区）								
機能強化工事（3地区）								

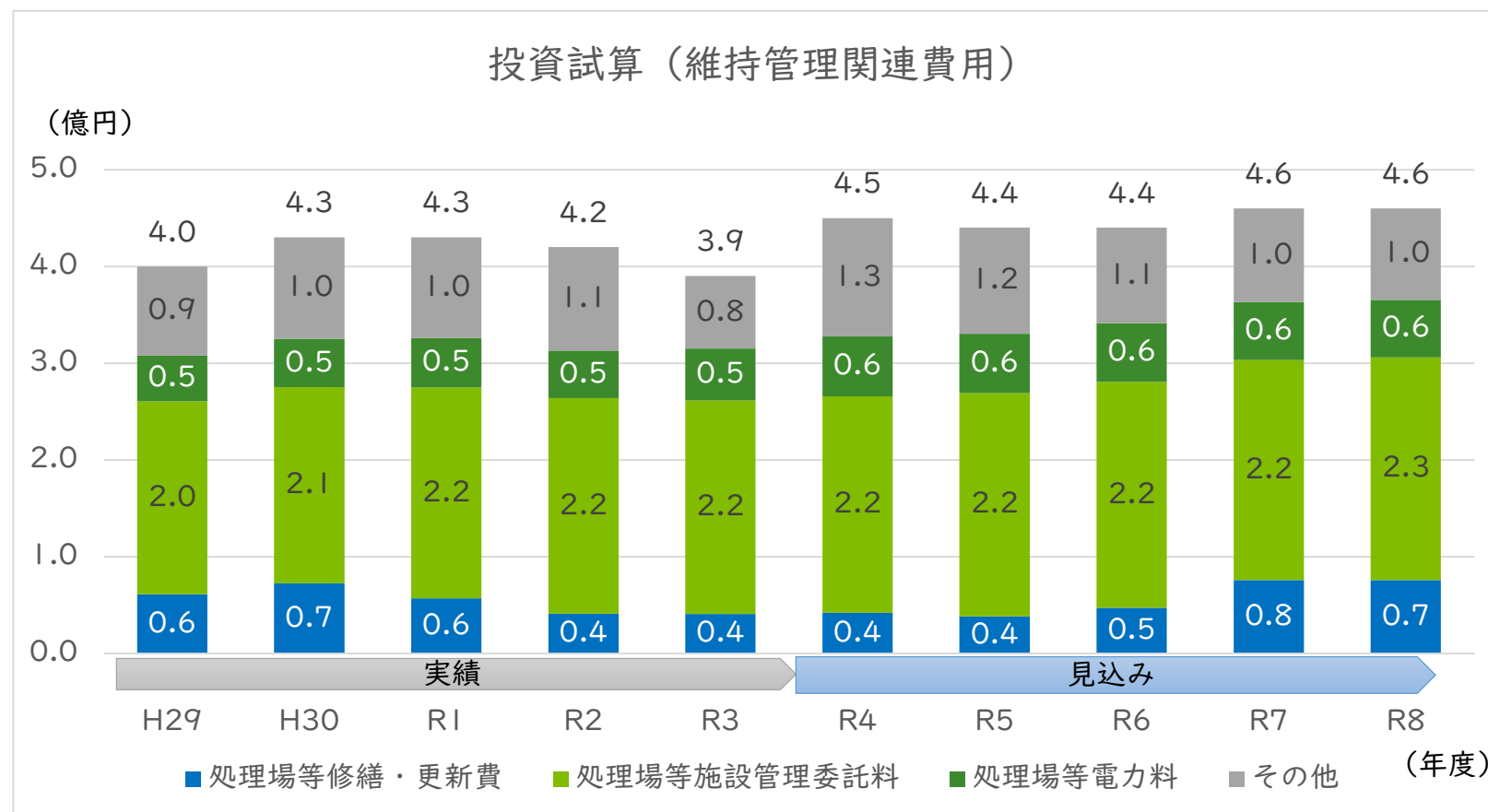
2 経営戦略（改定版）の概要（農業集落排水事業）

2.3 投資試算

投資計画に基づいた投資試算は、次のとおりとしています。

令和8（2026）年度までの10年間で約43億円の維持管理関連費用が必要となる見通しとしています。

【投資試算】（参考：鈴鹿市上下水道事業経営戦略（改定版）65ページ）



2 経営戦略（改定版）の概要（農業集落排水事業）

2.4 財源目標

中長期的に自立的で持続可能な経営を行うため、経費回収率の向上と基準外繰入金の抑制を財源目標として設定しています。

【財源目標】（参考：鈴鹿市上下水道事業経営戦略（改定版）76ページ）

目標	自立的で持続可能な経営を実現するため、経費回収率の向上と基準外繰入金の抑制に努めます。
----	---

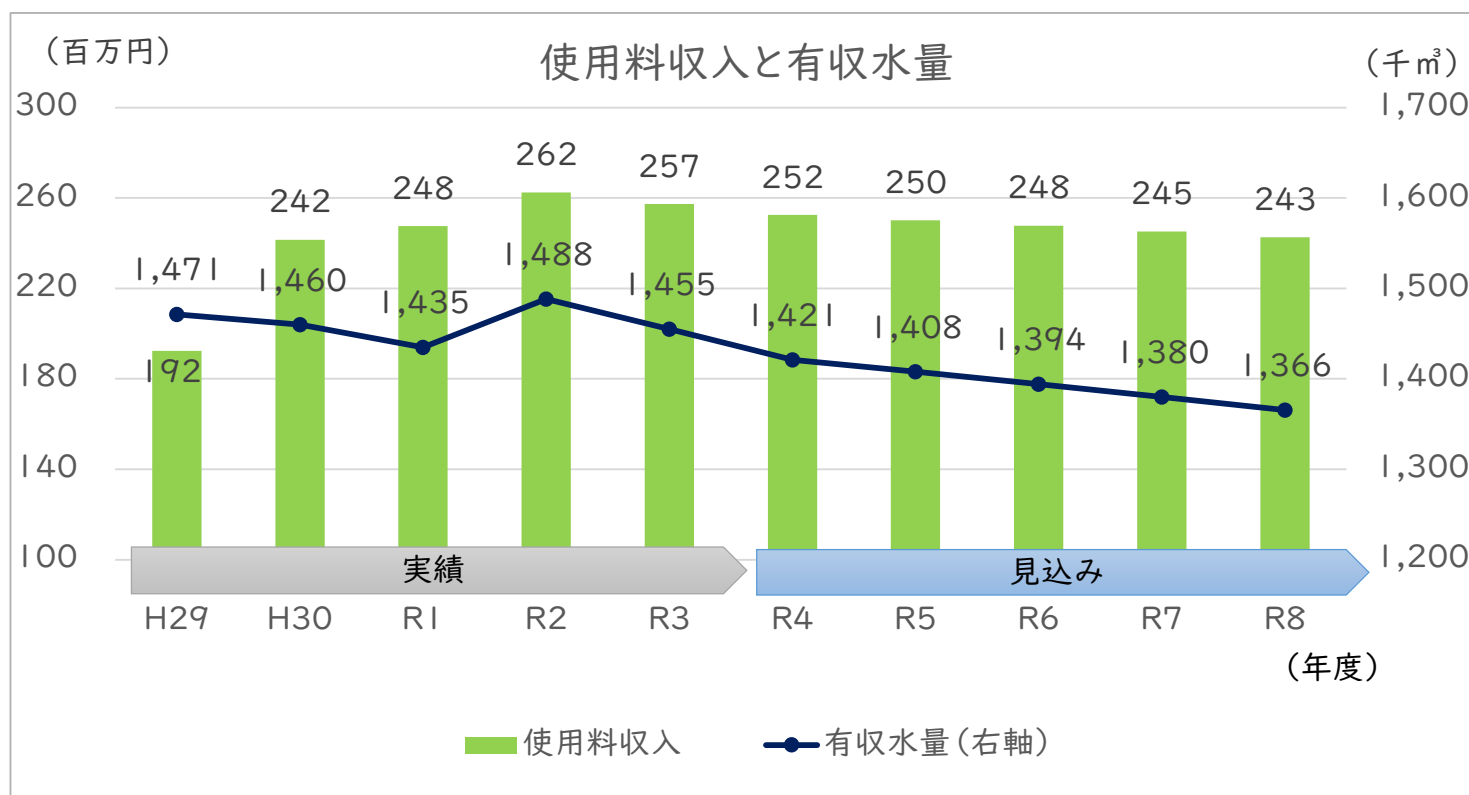
2 経営戦略（改定版）の概要（農業集落排水事業）

2.5 財源試算（使用料収入と有収水量）

使用料収入及び有収水量の見通しは、次のとおりとしています。

使用料収入は、平成30（2018）年度の使用料改定により増加しましたが、その後は水洗化人口と有収水量の減少に伴い減少していく見通しとしています。

【財源試算】（参考：鈴鹿市上下水道事業経営戦略（改定版）72ページ）



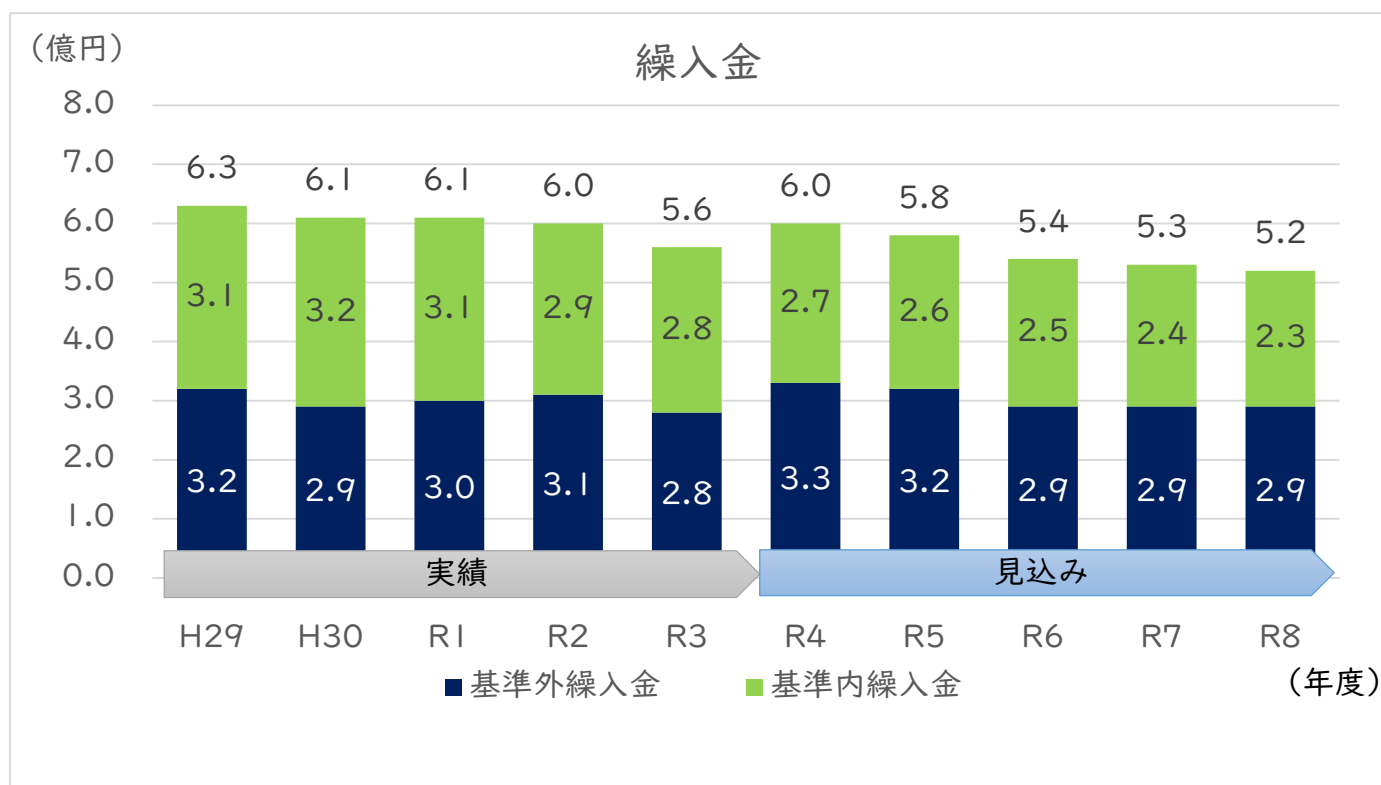
2 経営戦略（改定版）の概要（農業集落排水事業）

2.6 財源試算（繰入金）

財源目標とした繰入金の見通しは、次のとおりとしています。

繰入金は緩やかに減少していくものの、基準外繰入金はおおむね3億円前後で推移する見通しとしています。

【財源試算】（参考：鈴鹿市上下水道事業経営戦略（改定版）74ページ）



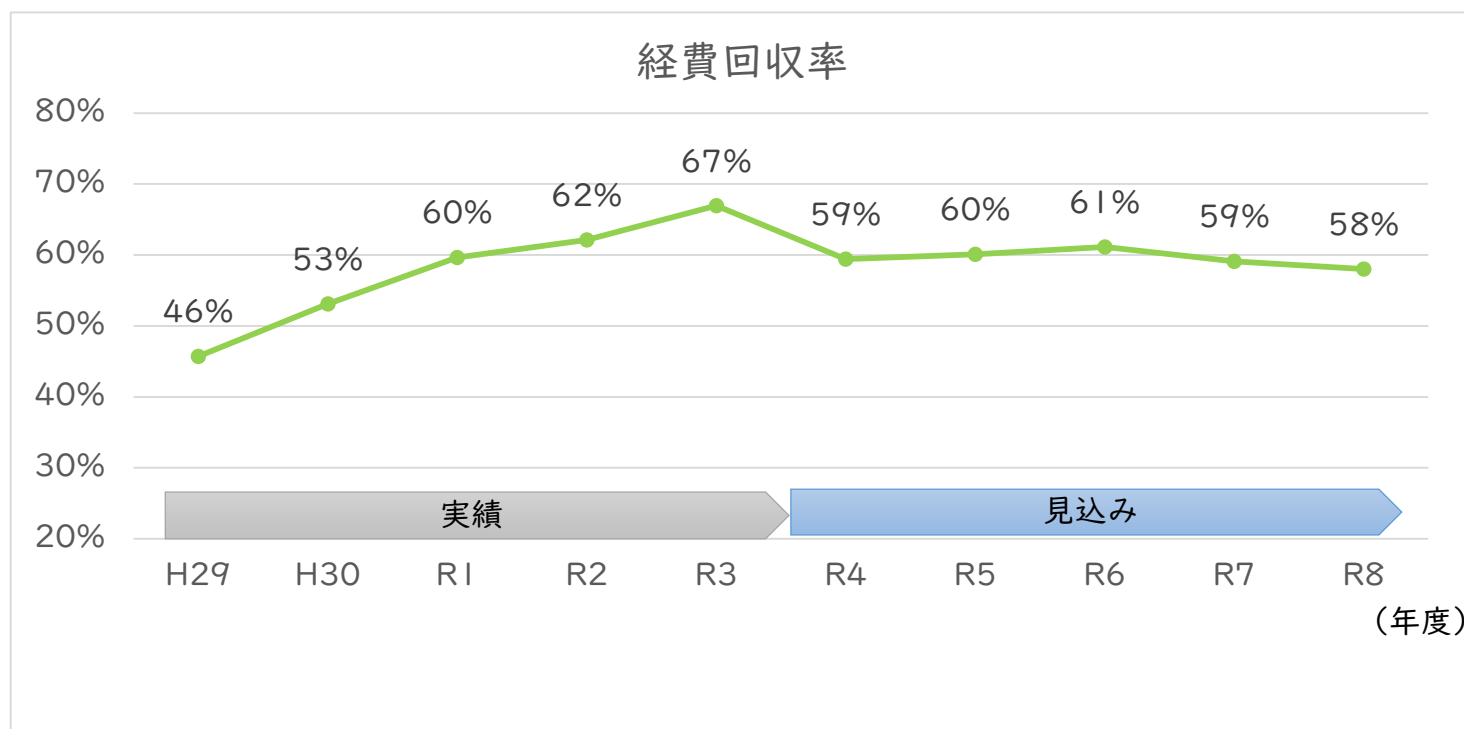
2 経営戦略（改定版）の概要（農業集落排水事業）

2.7 財源試算（経費回収率）

財源目標とした経費回収率の見通しは、次のとおりとしています。

平成30（2018）年度の使用料改定により、経費回収率は向上し、60%前後で推移するものの、依然として使用料収入で汚水処理費用の全てを賄えない状況が続く見通しとしています。

【財源試算】（参考：鈴鹿市上下水道事業経営戦略（改定版）74ページ）



3 経営戦略（改定版）の検証（農業集落排水事業）

3.1 計画値と実績値との比較・分析（概要）

計画値と実績値の概要については、次のとおりです。

(単位：百万円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
維持管理関連費用	467	387	447	442	436	422
使用料収入（税抜）	256	234	230	228	227	223
繰入金（污水）	602	563	601	595	577	566
うち基準内	290	280	256	254	244	244
うち基準外	312	283	345	341	333	322
経費回収率	57.4%	66.9%	57.5%	57.6%	58.2%	59.7%

備考1 令和3年度の維持管理関連費用の計画値は、令和元年10月からの消費税等の増税分を反映した数値です。

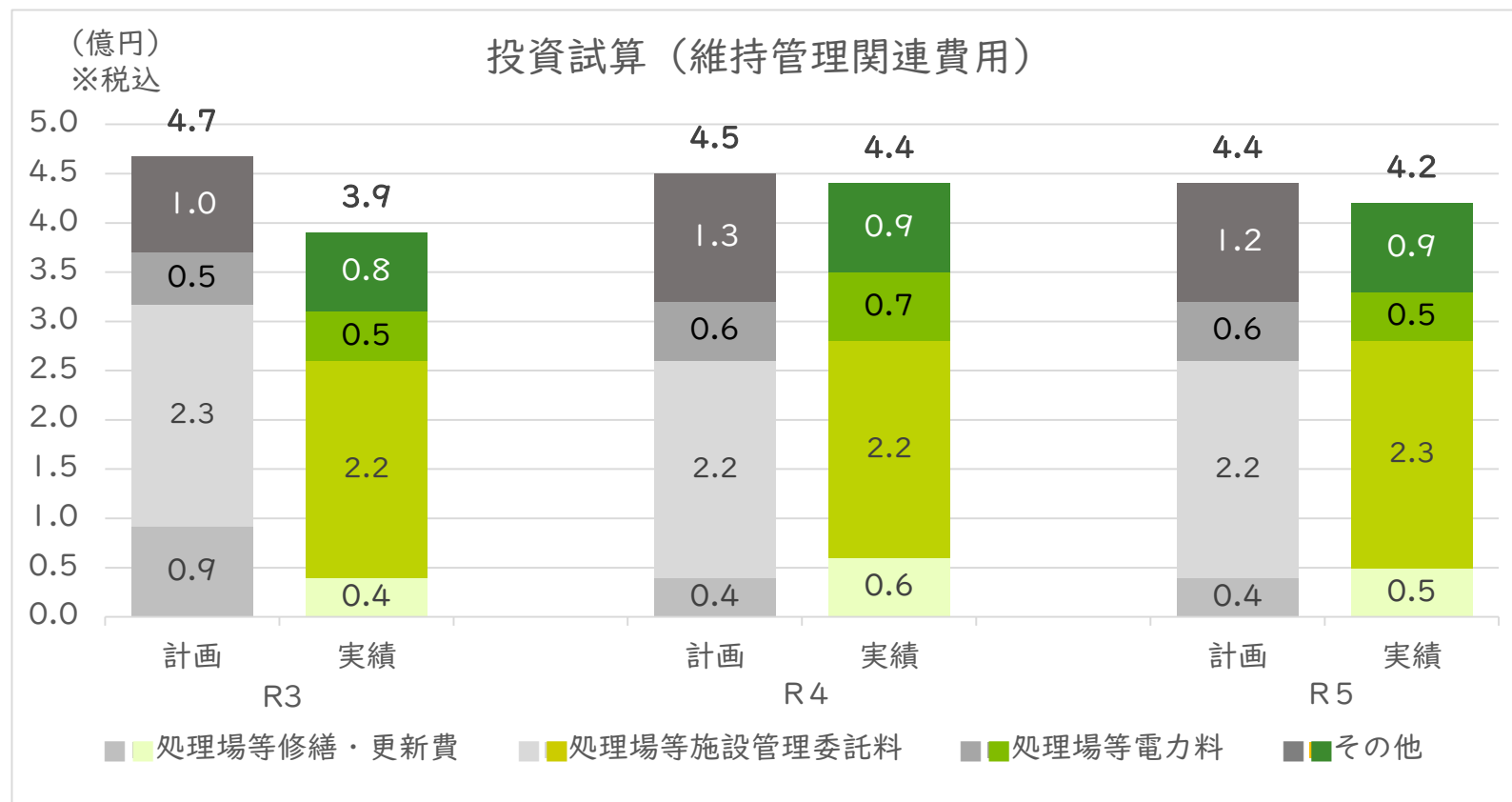
備考2 令和3年度の繰入金及び経費回収率の計画値は、国の算定方法により再計算した数値です。

備考3 令和4年度及び令和5年度の繰入金及び経費回収率の計画値は、令和5年度に会計方法を見直したことによる再計算後の数値です。

3 経営戦略（改定版）の検証（農業集落排水事業）

3.2 投資目標

投資目標については、維持管理関連費用の平準化を目標として設定しており、維持管理関連費用は各年度の計画値を下回った水準で推移しています。



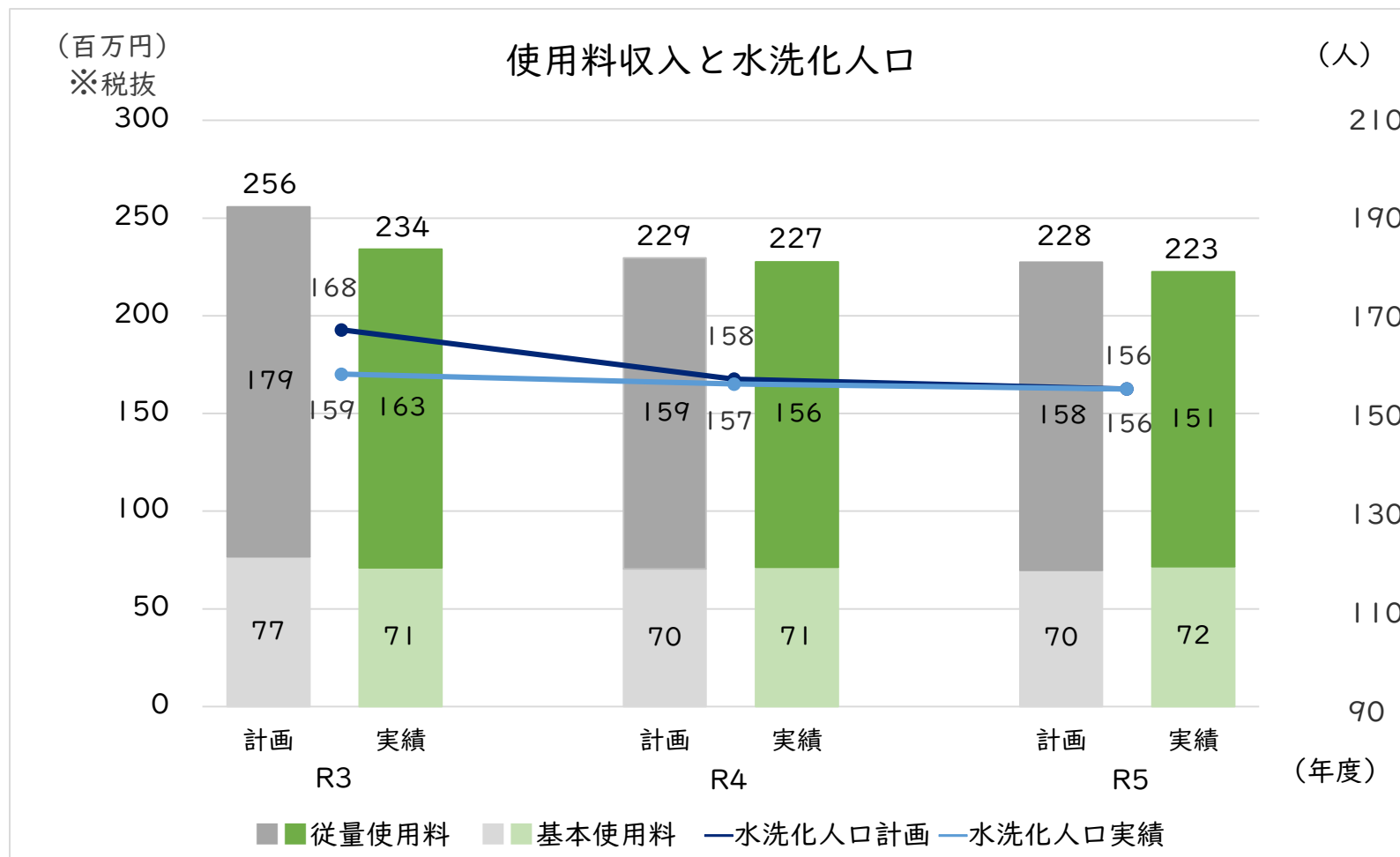
（維持管理関連費用＝維持管理費＋投資費用）

維持管理関連費用については、各年度の計画値を下回った水準で推移しているものの、経営戦略改定時と比較すると、物価等が上昇傾向にあることに加えて、施設設備の更新工事の時期が迫っていることから、令和9年度以降の10年間の投資額について検討が必要です。

3 経営戦略（改定版）の検証（農業集落排水事業）

3.3 使用料収入

使用料収入は減少傾向で、全ての年度で実績値が計画値を下回っています。

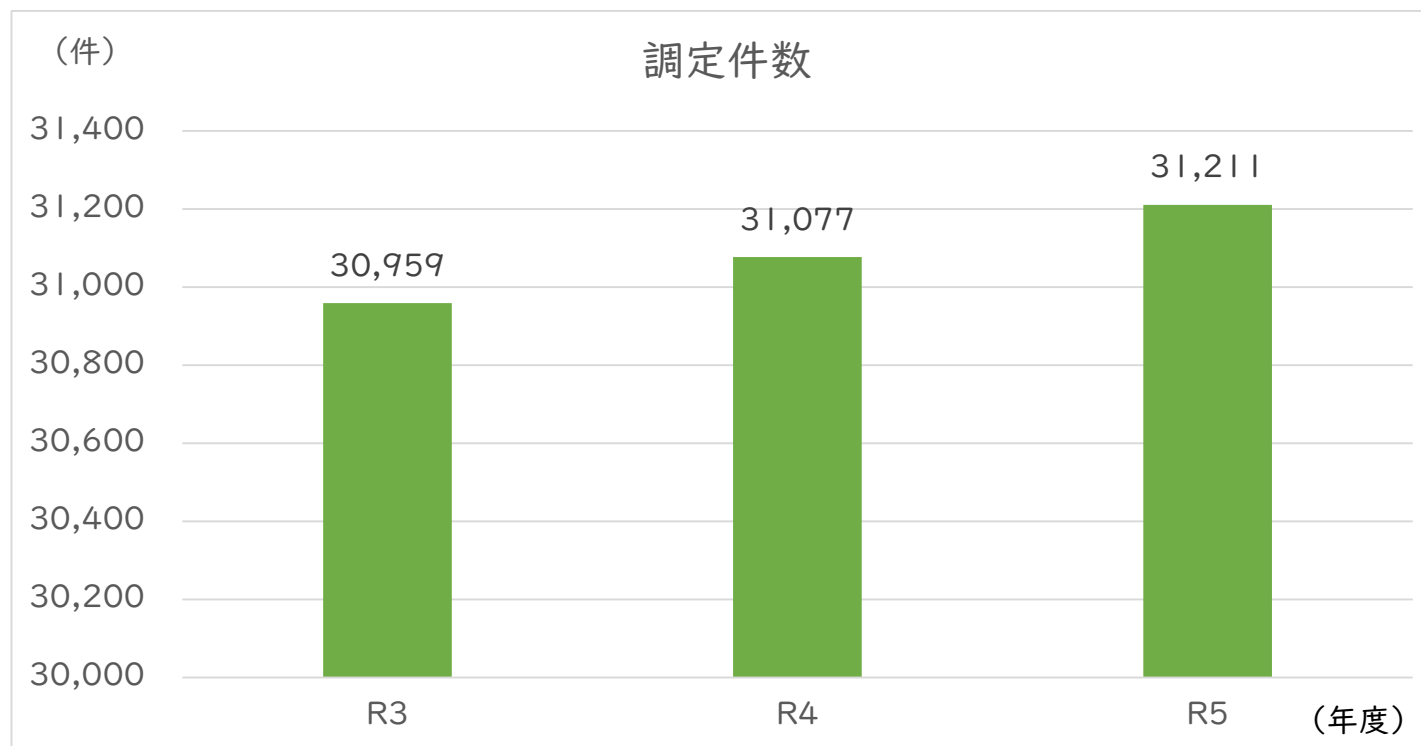


基本使用料は計画値を上回っているものの、従量使用料は計画値を下回って推移しています。

3 経営戦略（改定版）の検証（農業集落排水事業）

3.4 使用料収入（基本使用料）

基本使用料については、調定件数が増加したことにより増加傾向です。

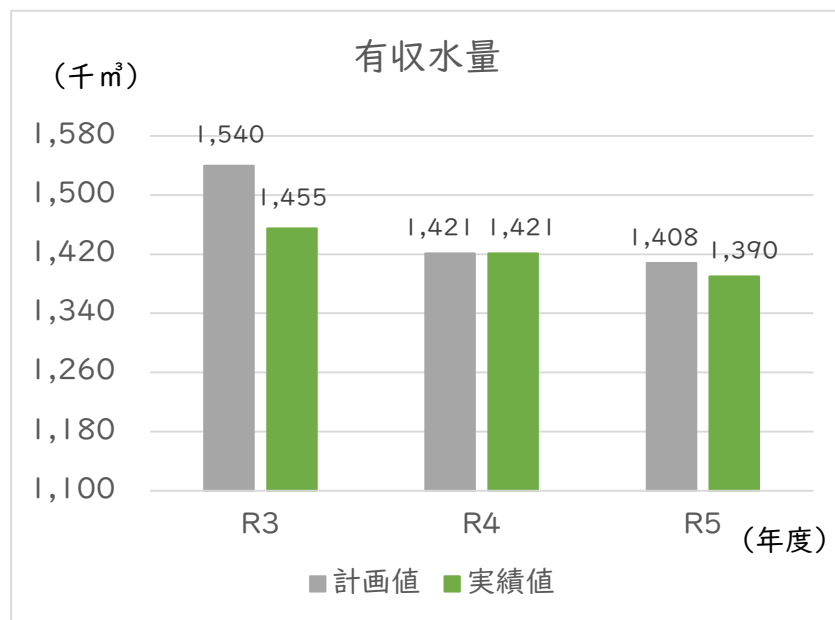


水洗化人口の減少に伴い、調定件数も減少することを想定していましたが、調定件数は増加しました。核家族や単身世帯が増え、全体として件数が増加したためと分析しています。

3 経営戦略（改定版）の検証（農業集落排水事業）

3.5 使用料収入（従量使用料）

有収水量の実績値が計画値を下回っていることにより、従量使用料の実績値が計画値を下回っています。



【有収水量の区分ごとの調定件数が全体に占める割合】

	従量使用料 (税抜)	R3	R4	R5
0m³	0円	3.1%	3.2%	3.5%
1～10m³	5円	7.7%	8.0%	8.5%
11～20m³	75円	8.6%	9.1%	9.0%
21～40m³	120円	27.5%	28.5%	29.9%
41～60m³	155円	27.4%	26.7%	26.1%
61～100m³	200円	21.3%	20.3%	19.3%
101～200m³	240円	4.0%	3.8%	3.4%
201～1000m³	305円	0.3%	0.3%	0.2%
1001m³以上	350円	0.1%	0.1%	0.1%

↑割合増加

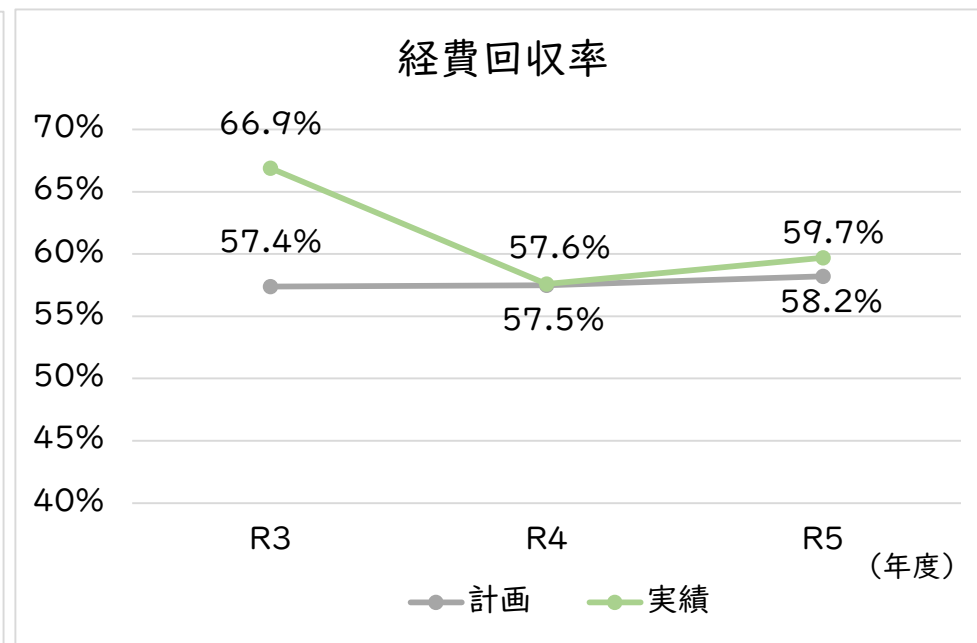
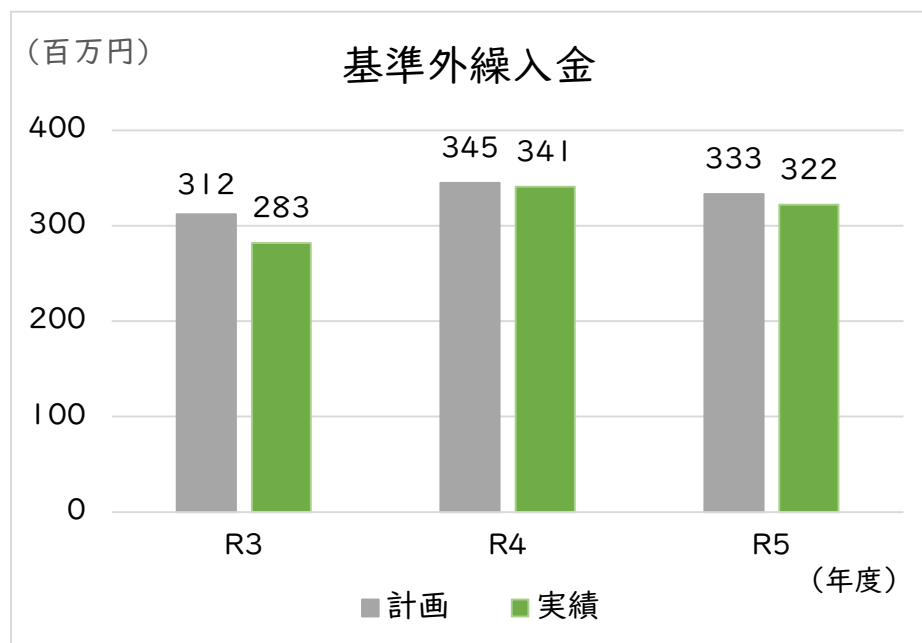
↓割合減少

世帯の構成人数が減少したことにより、40m³以下の使用水量が少ない区分の割合が増加し、41m³以上の使用水量が多い区分の割合が減少しています。

3 経営戦略（改定版）の検証（農業集落排水事業）

3.6 財源目標

財源目標の「基準外繰入金の抑制」については、指標の「基準外繰入金」が全ての年度で計画値を下回っています。また、「経費回収率の向上」については、指標の「経費回収率」が全ての年度で計画値を上回っています



基準外繰入金は計画値とおおむね同水準で推移し、また経費回収率は計画値よりも高水準で推移しています。しかし、恒常的に基準外繰入金が発生し、使用料収入で污水处理費用を賄っていない状況であるため、経営の健全化に向けてより一層取り組んでいく必要があります。

3 経営戦略（改定版）の検証（農業集落排水事業）

3.7 検証結果のまとめ

ここまでの検証結果のまとめは、次のとおりです。

経営戦略（改定版）の検証結果

投資	維持管理関連費用は物価高騰の影響を受けているものの、効率的な維持管理に努め、平準化を図った結果、各年度の計画値を下回った水準となっています。
財政	・ 使用料収入は計画値と乖離はないものの、過去3年とも計画値を下回っており、水洗化人口の減少とともに使用料収入も減少しています。 ・ 基準外繰入金は計画値とおおむね同水準ですが、毎年度約3億円が発生している状況です。 ・ 経費回収率は計画値を上回って推移していますが、あるべき回収率である（100%）を大幅に下回っています。

4 経営戦略改定以降の動向

4.1 農業集落排水事業の運営状況

経営戦略の改定以降、方針転換を余儀なくされる事象が発生することなく、効率的に維持管理を実施しています。今後についてもストックマネジメントの考え方にに基づき、既存施設の有効活用や長寿命化を図りながら、計画的かつ効率的に維持管理に努めていきます。

また、これまでに引き続き、施設の改築・更新を進めていくほか、公共下水道への接続や農業集落排水処理施設同士の統廃合等を検討することで、施設の適正化を図り、効率的な事業運営を進めていきます。

【ストックマネジメント事業計画】

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	令和 11年度	令和 12年度
施設統廃合等検討									
維持管理適正化計画策定（3地区）									
事業計画策定（3地区）									
全体実施設計（3地区）									
機能強化工事（3地区）									

5 今回の審議会資料のまとめ（農業集落排水事業）

本市の農業集落排水事業には、投資面、財政面でそれぞれ次のような課題があり、投資計画及び財政計画の見直しが必要です。

農業集落排水事業の課題	
投資	令和9年度以降の投資額について、物価高騰の影響や施設設備の更新工事の時期が迫っていることを踏まえた上で、費用の平準化を図りながら、適切な投資額を検討する必要があります。
財政	人口減少が進んでいくことが見込まれる中、適正な使用料収入の在り方、施設の統廃合も含む効率的な運用等によるコストの削減の検討を行う必要があります。

用語解説

用語名		説明
あ	汚水処理費用	維持管理費や支払利息など汚水処理に要する費用から基準内繰入金を除いた費用をいいます。
か	基本使用料	使用料のうち、排水量に関係なく、使用者が一律に負担する使用料のことをいいます。本市の場合、2,300円（税抜・2か月分）です。
	基準外繰入金	一般会計からの繰入金のうち、総務省の定める基準に基づかないものをいいます。
	基準内繰入金	一般会計からの繰入金のうち、総務省の定める基準に基づくものをいいます。
	経費回収率	使用料収入により汚水処理費を賄えているかを判断する指標です。算出式は、次のとおりです。 使用料収入／汚水処理費用（基準内繰入金などの公費負担分を除く費用）×100（％）
さ	財源試算	投資・財政計画のうち、財源の見通しを試算した計画のことをいいます。

用語名		説明
	最適整備構想	処理施設の劣化状況等を調べる機能診断調査及びその結果に基づき施設機能を保全するために必要な対策方法等を定めたものをいいます。
	従量使用料	使用料のうち、排水量に応じて負担する使用料のことをいいます。
	水洗化人口	処理区域内において、実際に公共下水道や農業集落排水に接続して汚水进行处理している人口をいいます。
	ストックマネジメント	施設又は設備の機能診断に基づく機能保全対策の実施を通じて、既存施設の有効利用や長寿命化を図り、ライフサイクルコストを低減するための技術体系及び管理手法の総称です。
た	投資試算	投資・財政計画のうち、施設・設備に関する投資の見通しを試算した計画のことをいいます。
	調定件数	農業集落排水処理施設使用料の請求件数のことをいいます。
や	有収水量	使用料徴収の対象となる水量のことをいいます。